

平成29年8月10日

お取引先様各位

近畿環境保全株式会社
代表取締役 西村忠浩

火災事故顛末のご報告

拝啓

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
平成29年8月2日18時10分ごろにグループ会社の株式会社湖南リサイクルセンターにて発生した火災事故の件について、以下にご報告申し上げます。

敬具

記

【原因】

揮発性の高い有機溶剤が混入している廃プラスチックに、破砕機内で金属片が摩擦により火花を発生したことによる火災。

【経過・対応】

従業員による消火活動により約10分程度で炎は消火したが、煙により火災報知機が作動した事で警備会社に連絡が行き、そこから消防が出動する事態に至った。火元がくすぶっている可能性もあり消防による鎮火が認められたのは同日21時30分ごろとなった。

翌日、平成29年8月3日の午前中に甲賀消防局による現場検証が行われ、出火原因を確定。幸いにも施設、破砕機共に業務へ支障をきたす損傷は無く、同日午後より操業を再開した。

【対策】

- 1.火災原因となった廃プラスチックと同等及び類似した廃棄物、火災原因となりうる廃棄物の新しい受け入れ基準設定をする。
- 2.排出事業者の皆様へは火災原因となりうる廃棄物の分別徹底の案内を強化。展開検査の再徹底を講じ、再発防止と安全な工場運営に努める。

以上

これまでの消防訓練や安全委員会などの取組みにより、速やかな従業員の初期消火活動により大事には至らず、負傷者が出なかったことは不幸中の幸いでした。しかし、一步間違えれば大きな災害に繋がっていたのも事実です。全ての従業員が自分事と捉え再発防止に努める所存でございます。

ご近隣の皆様、お取引先様にはご心配、ご迷惑をお掛けしたこと深くお詫び申し上げますと共に、今後とも変わらぬお引き立てをお願い申し上げ、書中をもってご報告申し上げます。